

事業所における省エネルギー等に関するアンケート

中野区では、令和3年10月に「中野区ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、取組を進めています。この調査は、中野区内の事業所における省エネルギーなどの取組状況についてうかがい、ゼロカーボンシティの実現に向けて、今後の中野区の施策に活かすために行うものです。

貴事業所の組織を代表してお答えいただける方（事業主など）または省エネルギーや環境に関する取組のご担当部署において、ご回答ください。

◆ゼロカーボンシティとは

ゼロカーボンシティとは、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを指す自治体のことです。中野区は、令和3年10月に「中野区ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

実質排出量ゼロとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡（差し引きゼロ）を達成することです。

I 省エネルギーに関する取組

問1 貴事業所では、省エネルギー（電気、ガス、ガソリンなどの使用量や光熱費の削減）に取り組んでいますか。（1つに○）

- 1 積極的に取り組んでいる 2 ある程度取り組んでいる
3 あまり取り組んでいない 4 取り組んでいない 5 どちらともいえない

問2 事業活動の中での取組、今後行いたい取組（現在行っている取組の継続も含みます）にそれぞれ○をつけてください。

取組	それぞれ当てはまるものに○	
	現在取り組んでいる	今後取り組みたい 継続したい
回答例) ⇒	○	○
暖房時 20℃・冷房時 28℃（室温）を目安とした適温運転		
クールビズ、ウォームビズの推進		
照明のLED化		
高効率空調機の導入		
省エネルギー型機器の導入（パソコン、プリンタ、給湯器、冷蔵設備、厨房設備など）		
廃棄物の排出抑制		
使い捨てプラスチック製品・包装類の使用抑制		

取組	それぞれ当てはまるものに○	
	現在取り組んでいる	今後取り組みたい 継続したい
建物の高断熱化（外壁、窓などの断熱化）		
窓・壁面などへの直射日光の遮蔽（屋上・壁面緑化、 緑のカーテン、窓ガラスへの遮熱フィルム設置、ルーバー導入など）		
省エネルギー診断*の受診		
エネルギー使用状況・光熱費の見える化（社内での表示など）		
BEMS（ビルのエネルギー管理機器）の導入		
従業員を対象とした省エネルギー・環境保全に関する研修		

*技術専門員が事業所を訪問して電気やガス等の使用状況を診断し、省エネに関する提案や技術的助言を行う取組で、光熱費の削減につながる。

問3 あなたは「ZEB」(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)^{ゼ フ} *を知っていましたか。(1つに○)

※省エネルギー性能の向上や再生可能エネルギーの活用等により、空調(暖冷房)・換気・照明・給湯・昇降機(エレベータ)などに使用する年間のエネルギー消費量を正味でゼロ又はおおむねゼロとすることを目指した建物のこと

- 1 知っていた 2 言葉を聞いたことはあった 3 知らなかった

問4 ZEBについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(1つに○)

- 1 ZEB化したい
2 ZEB化したいが困難である
3 ZEB化するつもりはない
4 すでにZEB化(ZEB Ready、ZEB Oriented、Nearly ZEBを含む)している
5 わからない

問5 貴事業所で取得している環境に関連する認証をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ISO14001
2 エコアクション21
3 eマーク〔省エネ基準適合認定マーク〕
4 BELS〔建築物省エネルギー性能表示制度〕
5 CASBEE〔建築環境総合性能評価システム〕
6 LEED〔グリーンビルディング認証システム〕
7 上記以外の認証 ()
8 いずれも取得していない

Ⅱ 移動手段（自動車）の利用について

問6 事業活動における自動車の使用状況についてうかがいます。

問6-1 貴事業所では、事業活動に自動車（二輪車含む）を所有またはリースし、日常的に使用していますか。（1つに○）

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 所有またはリースし、日常的に使用している | （→問6-2、問6-3へ） |
| 2 日常的に使用していない | （→問7へ） |

問6-2 貴事業所が保有またはリースしている車両等台数等を教えてください。概数でも構いません。

①ガソリン車	（ ）台
②ディーゼル車	（ ）台
③天然ガス自動車	（ ）台
④ハイブリッド車	（ ）台
⑤電気自動車（EV）	（ ）台
⑥電動二輪車	（ ）台
⑦プラグインハイブリッド自動車（PHV）	（ ）台
⑧燃料電池自動車（FCV）	（ ）台
⑨電気自動車等の充電設備	（ ）基

問6-3 自動車（二輪車含む）の利用に関連する省エネルギーの取組について、今後行いたい取組（現在行っている取組の継続も含みます）にそれぞれ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 燃費を意識した運転（エコドライブ） |
| 2 自動車の運行ルート工夫、共同配送の実施などによる走行距離の削減 |
| 3 低公害かつ低燃費な自動車（ガソリン・ディーゼル車）の導入 |
| 4 ZEV*（電気自動車、電動バイク、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）の導入 |
| 5 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の充電設備の設置 |

*Zero Emission Vehicle（ゼロエミッションビークル）の略。走行時（PHVはEVモードによる走行時）に二酸化炭素（CO₂）等の排ガスを出さない自動車のこと。

Ⅲ 再生可能エネルギー等の利用について

問7 再生可能エネルギーの利用やCO₂吸収に関する取組について、行っている取組、今後行っている取組（現在行っている取組の継続も含みます）にそれぞれ〇をつけてください。

取組	それぞれ当てはまるものに〇	
	現在取り組んでいる	今後取り組みたい 継続したい
回答例) ⇒		○
太陽光発電システムの導入		
太陽熱利用システムの導入		
燃料電池の導入		
蓄電設備の導入		
電気自動車等の充電設備の導入		
再生可能エネルギー電力プランへの切替		
再生可能エネルギー電力の証書（グリーン電力証書、非化石証書）やCO ₂ 削減量・吸収量のクレジットの購入		
国産木材の利用促進（内装、什器、食器類など）		

問8 貴事業所が省エネルギー、再生可能エネルギーの利用、CO₂削減などの対策に取り組む主な動機を教えてください。現在取り組んでいない場合は、今後取り組みたいと考える理由をお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

- | |
|---|
| 1 経費を節減するため |
| 2 経営方針として環境保全やSDGs（持続可能な開発目標）に貢献するため |
| 3 省エネルギー法または東京都都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）の対象となっているため |
| 4 投資や融資を得るために必要なため |
| 5 取引先から環境への配慮や二酸化炭素排出削減の取組が求められているため |
| 6 イメージアップを図るため |
| 7 省エネルギーなどの対策には取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない |
| 8 その他（) |

問9 貴事業所において省エネルギー、再生可能エネルギーの利用、CO₂削減などの対策を進める上での課題を教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 具体的な方法に関する情報が少ない | 2 担当できる人材がいない |
| 3 導入コストがかかる | 4 ランニングコストがかかる |
| 5 効果がよくわからない | 6 必要性について社内の理解が進まない |
| 7 他に優先すべき経営上の課題がある | 8 課題は特にない |
| 9 その他（) | |

問 10 貴事業所が省エネルギー、再生可能エネルギーの利用、CO₂削減などの対策を進めるために、どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 取組の方法や事例に関する情報提供 | 2 取組の費用と効果に関する情報提供 |
| 3 助成、融資あっせんなど資金面の支援 | 4 専門的人材の紹介や派遣 |
| 5 取組を推進している事業所の認定や表彰 | 6 必要とする支援は特にない |
| 7 その他 () | |

IV ゼロカーボンシティに関する取組

問 11 貴事業所では、中野区がゼロカーボンシティを宣言したことを知っていましたか。(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 聞いたことがあり、内容も知っていた |
| 2 聞いたことはあるが、内容はよく知らなかった |
| 3 知らなかった |

問 12 貴事業所は、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組に関心がありますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1 とても関心がある | 2 やや関心がある | |
| 3 あまり関心がない | 4 全く関心がない | 5 どちらともいえない |

問 13 ゼロカーボンシティの実現に向け、事業所において今後どのような対策に取り組んでいく必要があると思いますか。特に重要だと思う対策を5つまでお選びください。

- | |
|--|
| 1 日常的な省エネルギー対策を徹底する |
| 2 エネルギーの使用量、温室効果ガス排出量を把握する |
| 3 省エネルギー性能の高い設備・機器を導入する |
| 4 デジタル技術の活用によりエネルギーの使用を最適化する |
| 5 自家消費型の太陽光発電設備を導入する |
| 6 蓄電池を設置する |
| 7 再生可能エネルギー電力プランへの切替を進める |
| 8 建物の高断熱化を進める |
| 9 建物を建て替える際にZEBにする |
| 10 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の導入を進める |
| 11 電気自動車等の充電設備を設置する |
| 12 輸送の効率化や共同輸配送を推進する |
| 13 廃棄物を削減する |
| 14 使い捨てプラスチックの使用を削減する |
| 15 廃油のリサイクルに協力する |
| 16 森林吸収に貢献する国産木材の利用を進める |
| 17 環境に関する認証を取得する |
| 18 クレジットの購入などにより排出量をオフセット(埋め合わせ)する |
| 19 特になし |

20 その他 (

)

問 14 ゼロカーボンシティの実現に向け、中野区役所は今後どのような施策を進めていく必要があると思いますか。特に重要だと思う対策を5つまでお選びください。

- 1 家庭（区民）や事業所に向けた普及啓発や情報提供
- 2 省エネルギー機器を導入する区民・事業者への支援
- 3 再生可能エネルギー設備・蓄エネルギー設備を導入する区民・事業者への支援
- 4 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車を導入する区民・事業者への支援
- 5 建物の高断熱化を進める区民・事業者への支援
- 6 ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）、ZEB^{ゼット}の建設を進める区民、事業者への支援
- 7 区民や事業者による再生可能エネルギー由来の電力への切替え支援
- 8 徒歩や自転車で移動しやすいまちづくり
- 9 電気自動車充電設備の整備支援
- 10 燃料電池自動車のための水素ステーションの整備
- 11 廃棄物の削減（3Rの推進、食品ロスの削減、プラスチック類の資源回収など）
- 12 ゼロカーボン製品・サービスに関わる産業の育成
- 13 省エネルギーに貢献する屋上・壁面の緑化の推進や緑のカーテンの普及
- 14 森林吸収に貢献する木造建築、国産木材利用の促進
- 15 環境に関する認証（ISO14001 など）を取得する事業者への支援
- 16 ゼロカーボンシティの実現に積極的に取り組む区民・事業者の表彰・取組の紹介
- 17 開発事業に際した再生可能エネルギーの利用促進、建物間・地域内でのエネルギーの融通の誘導
- 18 他都市で産出する再生可能エネルギーの区民・事業者による購入促進
- 19 区役所の事業活動における二酸化炭素排出削減
- 20 特になし
- 21 その他（）

問 15 ゼロカーボンシティの実現に向け、今後、貴事業所において取り組みたいこと、中野区役所に取り組んでほしいことについてのご提案、ご意見がありましたら、ご記入ください。

V 貴事業所について

問 16 貴事業所の主たる業種（1つに○）

1 鉱業、採石業、砂利採取業	2 建設業	3 製造業
4 情報通信業	5 運輸業、郵便業	6 卸売業、小売業
7 金融業・保険業	8 不動産業、物品賃貸業	9 学術研究、専門・技術サービス業
10 宿泊業、飲食サービス業	11 生活関連サービス業、娯楽業	12 教育、学習支援業
13 医療、福祉	14 複合サービス業	15 サービス業（他に分類されない）
16 その他（	）	

問 17 貴事業所の従業員数（アルバイト、パート等を含む）（1つに○）

1 1～4人	2 5～9人	3 10～19人	4 20～29人
5 30～49人	6 50～99人	7 100～299人	8 300人以上

問 18 資本金（1つに○）

1 1,000万円未満	2 1,000万円～5,000万円	3 5,000万円～1億円
4 1億円以上	5 個人事業主	6 回答したくない

問 19 事業所（建屋）の形態（1つに○。両方に該当する場合は、床面積の多い方を選択）

1 テナントとして入居	2 自社所有
-------------	--------

問 20 国、東京都の省エネルギー、地球温暖化対策に関する制度の該当状況

（あてはまるものすべてに○）

1 「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）」の特定事業者又は特定連鎖化事業者
2 「東京都 総量削減義務と排出量取引制度（キャップ&トレード制度）」の対象事業所又は特定テナント等事業者
3 「東京都 地球温暖化対策報告書」の提出義務を負う事業所又は連鎖化事業者
4 「東京都 地球温暖化対策報告書」を任意提出している事業所

問 21 令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）における貴事業所のエネルギー使用量等

（回答可能な範囲でご記入ください）

項目	令和4年度使用量	単位
①購入電力	()	kWh
②都市ガス	()	m ³
③ガソリン	()	キロリットル

※ 正確な量が把握できない場合は、概算で構いません。

※ 令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）分の集計が困難な場合は、この期間に最も近い会計年度等、回答可能な1年間分をご記入ください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。